

令和7年5月

新技術等を活用した駅ホームにおける視覚障害者の安全対策について ～中間報告～の訂正について

「新技術等を活用した駅ホームにおける視覚障害者の安全対策について ～中間報告～」につきまして、「ホームからの転落事故の現状と原因分析について」の数値に変更がございましたので、以下のとおり訂正いたします。（訂正箇所は赤字下線部分です。）

参考：[鉄軌道輸送の安全に関わる情報（令和5年度）](#)

●新技術等を活用した駅ホームにおける視覚障害者の安全対策について ～中間報告～

2. ホームからの転落事故の現状と原因分析について

2. ホームからの転落事故の現状と原因分析について

視覚障害者のホームからの転落について、直近の10年間（平成22年度～令和元年度）の年間平均発生件数は74.6件であり、このうち、列車と接触した事故件数は年間平均2.1件となっている（図1参照）。

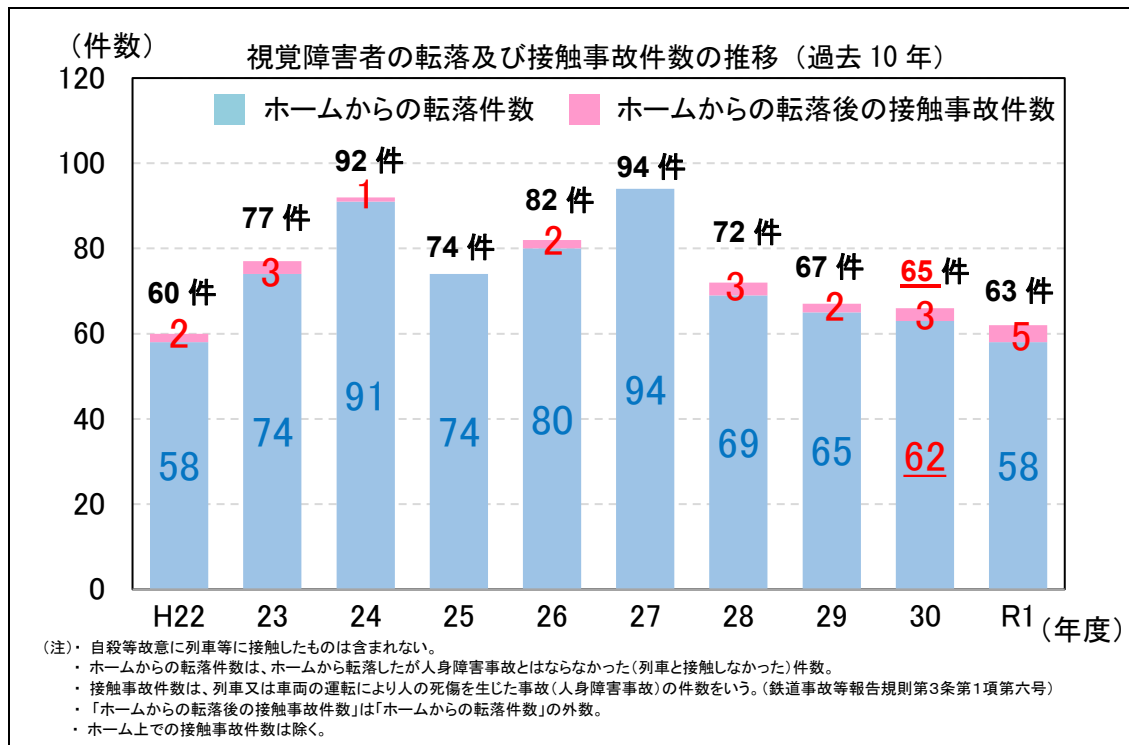


図1 視覚障害者の転落及び接触事故件数の推移（過去10年）

このような視覚障害者の転落防止対策を検討するためには、転落の状況、転落に至った背景や原因を分析する必要があることから、検討会では、以下のアンケート調査とヒアリング調査を実施した。